

保険提案にタブレット型端末を活用
～ タブレット型端末の保険提案用アプリを開発 ～

株式会社損害保険ジャパン(以下「損保ジャパン」、社長:櫻田謙悟)は、タブレット型端末専用の保険提案用アプリを開発し、本日から利用を開始しました。本アプリの活用により、お客さまを取り巻く日常のリスクや、それに対応する保険商品のわかりやすいご説明が可能となり、お客さま対応力の一層の向上を実現します。

1. 開発の背景

損保ジャパンが2011年度に実施した『お客さま満足度調査』では、保険募集時に口頭やパンフレットだけで説明するよりも、パソコンなどを使用して説明する方が、お客さまの評価が高いという結果が出ました。損保ジャパンは、これまで以上に「丁寧でわかりやすい」保険説明を可能とするため、プレゼンテーションに適し、携行性のあるタブレット型端末用の保険提案アプリを開発しました。

2. 新アプリの概要

(1) 個人・企業をとりまくリスクと保険の説明機能

個人や企業を取り巻くリスクをご確認いただきながら、リスクに対応する保険商品の概要をQ & A形式などでご紹介するアプリです。お客さまがさらに詳しい説明を希望される場合は、パンフレットを画面に呼び出すことも可能です。



(2) 事故発生時の支出額予想機能

「お車」「お住まい」「おからだ」の3分野に分けて、万が一損害を被った場合のお客さまの支出額(予想)を確認いただきながら、保険加入の必要性についてご理解いただくツールです。

例えば「お車」では、事故車の損傷個所の写真から修理費が意外と高いことなどをご紹介します。また、「おからだ」では、お客さまの年代別の「入院となる上位の病名」や平均入院日数などをご紹介します、保険による万が一の備えの有効性をご確認いただけます。



3. 今後の展開

損保ジャパンは、今後も以下のアプリの提供を予定しており、お客さまにとってより「丁寧でわかりやすい」保険説明を実現することで、お客さま満足の向上に努めていきます。

- (1) 自動車保険の保険料をその場で試算し、商品内容とともにご説明する「自動車保険料らくらく試算ツール」
- (2) 個人用火災総合保険『ほ～むジャパン』を簡単に試算することができる「火災保険試算ツール」
- (3) 年金払積立傷害保険『ゆとらいふみらい』を活用した老後の資金プランをその場で試算できる「年金試算ツール」

以上